手づくりでできる　　エクスプロラトリアム

39

科.学.の.遊.び手つくりミュージアム

ソニーの井深さんは1989年にサンフランシスコのサイエンス・ヴォランティアであるエクスプロラトリアムから６５点の展示物を導入しました。日本の７カ所の科学館でエクスプロラトリアム展を開催して子どもたちに遊んでもらい、３年間で１００万人もの来訪者がありました。

エクスプロラトリアムは科学大好きな人たちのクラブハウスです。1969年にたった数点の展示物で始まったサンフランシスコのエクスプロラトリアムでは現在までに１０００種類もの手でさわれる展示実験を開発して来ました。

それを１００円ショップやホームセンターの材料で作り易く工夫しました。

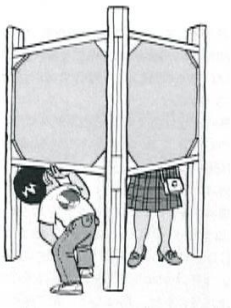
７万円の材料費で小学校の中や町の空き商店街に６０展示の好奇心いっぱいのサイエンスルームが出来ます。子供ひとり５００円玉一つでできるサイエンスミュージアムです。

『ミニエクスプロ　手つくり展示実験』をいっぱい紹介します。

1.　セッケンまくの立体アート

針金でサイコロの形や３角形の正４面体の形や、らせんの形を作ってセッケン水につけてひきあげてみよう。

→どんな形のシャボンができるかな？

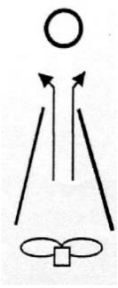


科学の遊び
エクスプロラトリアム展図録
Published by
Asahi Shimbun　©1989 より

２　万華鏡の中へ

万華鏡を見たことのある人はたくさんいますね。３まいのカガミで正３角形の世界はいつまで見ていてもあきません。では、万華鏡の中に入った事のある人はいますか？

３．浮かぶ球



何のささえもなしに空中に静止しているものを見たことがありますか？トンボやヘリコプターは同じ場所にいつづけることができますが、ハネをうごかしつづけています。ピンポン球のようなかるいものならば、お母さんのヘアドライヤーなどをつかって簡単に空中で静止させられます。中型ブロワーならななめにうかぶビーチボールができます。

ミニ・エクスプロラトリアムを創る会 電気通信大 竹内幸一 sonytakeuchi@yahoo.co.jp
実験開発協力　信州大学農学部　応用生命科学 学生メンバー　２００２
展示協力　信州大学理学部　２０１５学生スタッフ